



2024年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年4月5日

上場会社名 株式会社エクスマーション 上場取引所 東
コード番号 4394 URL <https://www.corporate.exmotion.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 博之
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 兼経営企画室長 (氏名) 三上 宏也 (TEL) 03(6420)0019
四半期報告書提出予定日 2024年4月12日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年11月期第1四半期の連結業績(2023年12月1日~2024年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年11月期第1四半期	288	—	6	—	8	—	3	—
2023年11月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2024年11月期第1四半期 3百万円(—%) 2023年11月期第1四半期 -百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年11月期第1四半期	1.13	1.13
2023年11月期第1四半期	—	—

(注) 当社は、2023年11月期第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2023年11月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率、2024年11月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年11月期第1四半期	1,608	1,502	93.4
2023年11月期	1,701	1,553	91.3

(参考) 自己資本 2024年11月期第1四半期 1,502百万円 2023年11月期 1,553百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年11月期	—	0.00	—	18.00	18.00
2024年11月期	—	—	—	—	—
2024年11月期(予想)	—	0.00	—	19.00	19.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年11月期の連結業績予想(2023年12月1日~2024年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	601	12.7	31	△64.6	34	△63.0	19	△65.0	6.37
通期	1,258	13.9	136	3.8	141	5.1	88	—	29.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 - 社 (社名) - 、 除外 - 社 (社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年11月期 1 Q	3,015,700株	2023年11月期	3,015,700株
② 期末自己株式数	2024年11月期 1 Q	77株	2023年11月期	77株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年11月期 1 Q	3,015,623株	2023年11月期 1 Q	2,964,878株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法等)

四半期決算補足説明資料はT D n e t で同日開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	2
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
（1）四半期連結貸借対照表	3
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
（四半期連結損益計算書）	4
（第1四半期連結累計期間）	4
（四半期連結包括利益計算書）	5
（第1四半期連結累計期間）	5
（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
（継続企業の前提に関する注記）	6
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	6
（セグメント情報等）	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループ（当社及び当社の関係会社）は、前第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っていません。

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、社会経済活動の正常化が進み、企業収益や個人消費の持ち直しが見られ、景気は緩やかな回復基調で推移しました。先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されます。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れによる我が国の景気を下押しするリスク、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があります。

当社グループの事業領域である組込みソフトウェア開発のコンサルティング業界におきましては、引き続き、製造業におけるソフトウェアの重要性が高く、高付加価値の支援が必要とされています。製造業全般において、ソフトウェア開発需要が多く、特に自動車業界における電動化や自動運転をはじめとするCASE領域では、ソフトウェアの大規模・複雑化が進んでおり、ソフトウェア開発の旺盛な需要が継続しております。また、急激に進化した大規模言語モデルに代表される生成AIなどの最新技術の利活用が急務と考えております。

このような環境の下、コンサルティング事業は、CASEやソフトウェア・ファーストなど、最新の技術課題や製造業DXを中心に受注を伸ばし、堅調に推移しました。「Eureka Box（ユーリカボックス）」やトレーニングは、リスティング需要の高まりを背景に、順調に推移しました。また、リリースに向けて生成AI支援サービス「CoBrain（コブレイン）」の開発に注力しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高288,381千円、営業利益6,607千円、経常利益8,452千円、親会社株主に帰属する四半期純利益3,402千円となりました。

なお、当社グループはコンサルティング事業の単一セグメントであり、セグメント別の記載を省略しております。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は1,392,813千円となり、前連結会計年度末に比べ98,348千円減少いたしました。これは主に増収に伴い売掛金及び契約資産が30,647千円増加した一方で、配当金及び法人税等の支払に伴い現金及び預金が130,696千円減少したことによるものであります。固定資産は215,509千円となり、前連結会計年度末に比べ4,878千円増加いたしました。これは主にのれん償却に伴い無形固定資産が9,478千円減少した一方で、設備投資に伴い有形固定資産が12,428千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は1,608,322千円となり、前連結会計年度末に比べ93,469千円減少いたしました。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は105,912千円となり、前連結会計年度末に比べ42,591千円減少いたしました。これは主に賞与引当金が12,592千円増加した一方で、法人税等の支払に伴い未払法人税等が3,407千円減少したことと、その他に含まれる未払費用が14,696千円、預り金が48,983千円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は105,912千円となり、前連結会計年度末に比べ42,591千円減少いたしました。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,502,409千円となり、前連結会計年度末に比べ50,878千円減少いたしました。これは主に剰余金の配当に伴い利益剰余金が50,878千円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は93.4%（前連結会計年度末91.3%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年11月期の連結業績予想については、2024年1月12日の「2023年11月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,278,406	1,147,710
売掛金及び契約資産	205,145	235,793
仕掛品	345	241
貯蔵品	23	50
その他	7,240	9,017
流動資産合計	1,491,161	1,392,813
固定資産		
有形固定資産	16,290	28,718
無形固定資産		
のれん	128,849	121,691
その他	12,325	10,004
無形固定資産合計	141,174	131,695
投資その他の資産	53,165	55,094
固定資産合計	210,630	215,509
資産合計	1,701,791	1,608,322
負債の部		
流動負債		
買掛金	12,602	15,566
未払法人税等	13,457	10,050
賞与引当金	—	12,592
その他	122,443	67,702
流動負債合計	148,503	105,912
負債合計	148,503	105,912
純資産の部		
株主資本		
資本金	453,486	453,486
資本剰余金	444,486	444,486
利益剰余金	655,406	604,528
自己株式	△91	△91
株主資本合計	1,553,287	1,502,409
純資産合計	1,553,287	1,502,409
負債純資産合計	1,701,791	1,608,322

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年2月29日)
売上高	288,381
売上原価	186,738
売上総利益	101,643
販売費及び一般管理費	95,035
営業利益	6,607
営業外収益	
受取利息	6
助成金収入	1,784
その他	54
営業外収益合計	1,845
経常利益	8,452
税金等調整前四半期純利益	8,452
法人税、住民税及び事業税	7,305
法人税等調整額	△2,255
法人税等合計	5,049
四半期純利益	3,402
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,402

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年2月29日)
四半期純利益	3,402
四半期包括利益	3,402
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	3,402

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当社グループは、コンサルティング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。